

問1	福岡県の自然環境について説明した次の文章のうち、正しいものはどれですか。県の北東部に位置し本州との境界となっている潮流の速い海峡と、県の南西部に位置し日本で最も干満の差が大きいことで知られる海の組み合わせを選びなさい。 （2021年 東京都公立入試 類似）			
	1. 津軽海峡と大村湾	2. 関門海峡と有明海	3. 紀伊水道と伊勢湾	4. 豊後水道と鹿児島湾
問2	鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。 （2019年 東京都公立入試 類似）			
	1. 種子島	2. 壱岐島	3. 奄美大島	4. 屋久島
問3	ニュージーランドの地形の特徴と日本との貿易関係について説明した文として、適切なものはどれですか。なお、日本におけるニュージーランドからの果実の輸入額は、1999年の約154億円から2019年には約459億円へと約3倍に増加しています。 （2021年 東京都公立入試 類似）			
	1. 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。	2. 安定陸塊に位置するため平坦な土地が広がり、南島の海岸部にはサンゴ礁が発達しており、日本へはオレンジなどの柑橘類の輸出が急激に減少している。	3. 安定陸塊に位置するため大規模な地殻変動がなく、南島の海岸部には広大な砂州が見られ、日本へはブドウなどのワイン用果実の輸入額が1990年代から半減している。	4. 環太平洋造山帯に位置するため火山活動が活発で、北島の海岸部には土砂が堆積してできたリアス海岸が広がり、日本へはバナナなどの熱帯果実の輸出が中心となっている。
問4	福井県内の郊外の駅などにおいて、鉄道の利用を促進するために整備されている、自動車から鉄道へ乗り換える仕組みを何と呼びますか。 （2020年 東京都公立入試 類似）			
	1. スマートインターチェンジ	2. モーダルシフト	3. パークアンドライド	4. ロードプライシング
問5	「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げている、全ての人が経済的・社会的な恩恵を受け、社会から孤立する人をなくそうとする決意を込めたスローガンとして、最も適切なものはどれか。 （2024年 東京都公立入試 類似）			
	1. 自国の利益の最大化	2. 科学技術の無制限な発展	3. 誰一人取り残さない	4. 自由で開かれた経済活動
問6	2000年から2010年にかけてのアフリカ州では、人口増加率が約27.6%と他の地域に比べて非常に高い数値を示しています。この人口の変化が土地利用に与えた影響について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 （2016年 東京都公立入試 類似）			
	1. 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。	2. 急速な工業化が進んだことで、工場用地や都市を整備するために森林が伐採され、農地も工業団地へと作り替えられた。	3. 人口増加による労働力不足を解消するため、機械化による大規模農業が普及し、不要になった森林をすべて牧草地へと変えた。	4. 砂漠化の進行によって居住に適さない土地が増えたため、残された森林を保護し、限られた農地を都市部へと転換した。
問7	インドにおいて、主要な港湾都市と内陸を結ぶ鉄道が開通した1867年の9年前に起きた、イギリスの支配に不満を持つ人々が起こした大規模な抵抗運動は何ですか。 （2023年 東京都公立入試 類似）			
	1. 第一次世界大戦	2. 非暴力・不服従運動	3. アヘン戦争	4. インド大反乱（セポイの乱）
問8	鳥取県北部に位置する砂丘地帯では、砂地が乾燥しやすく水持ちが悪いという自然条件を克服するため、ある仕組みを導入して農業を行っています。この地域で梨などの果樹栽培やラッキョウの栽培を可能にするために整備された設備と、その仕組みの組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2018年 東京都公立入試 類似）			
	1. 灌漑（かんがい）設備を整備し、スプリンクラーを用いて散水する仕組み	2. 客土（きゃくど）によって土質を改善し、大規模な棚田を造成する仕組み	3. 温室（ビニールハウス）を建設し、暖房設備で温度を一定に保つ仕組み	4. 温田を乾田化するために、地下に大規模な排水路を張り巡らせる仕組み
問9	ノルウェーなどのヨーロッパ北部は、北緯60度を超える高緯度に位置しながらも、同緯度の他地域に比べて冬の気温が下がりにくく、海が凍らないという特徴があります。この気候を形作る要因として最も適切な組み合わせはどれですか。 （2018年 東京都公立入試 類似）			
	1. 黒潮という暖流の影響と、赤道付近から吹く貿易風の影響	2. リマン海流という寒流の影響と、冬に吹く季節風の影響	3. 北大西洋海流という暖流の影響と、一年中吹く偏西風の影響	4. 千島海流という寒流の影響と、夏に吹く季節風の影響
問10	ヨーロッパの主要国であるドイツの農業統計において、小麦やじゃがいもの生産量が多く、米の生産がほとんど見られない理由と、その統計的な特徴の説明として正しいものはどれですか。 （2021年 東京都公立入試 類似）			
	1. アジアから伝わった稲作技術により、温暖な南部を中心に米の生産量が小麦を上回るようになり、じゃがいもは飼料用としての生産に限られる。	2. 熱帯の広大な農地でとうもろこしの大規模な機械化栽培が行われており、じゃがいもよりもとうもろこしの生産量が圧倒的に多い。	3. 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。	4. 地中海性気候を利用したオリーブやぶどうの栽培に特化しており、穀物の中では小麦よりも米の輸入額が統計上の大半を占める。
問11	16世紀後半から17世紀初頭にかけて、豊臣秀吉は全国で「6尺3寸を1間（けん）」、「300歩を1反（たん）」とする共通の測量基準を導入し、土地の生産性を米の収穫量に換算する「石高（いしだか）」を定めました。このような一連の政策が、当時の社会に与えた影響として最も適切なものはどれですか。 （2022年 東京都公立入試 類似）			
	1. 複雑だった荘園領主などの権利関係が整理され、土地を実際に耕している農民が検地帳に登録されて年貢を納める仕組みが確立した。	2. 江戸幕府が成立する直前の出来事として、徳川家康が各藩の軍勢力を削ぐために、大名の領地における収穫量の報告を義務づけた。	3. 古代の班田収授の法に基づき、戸籍に登録されたすべての人々に、身に応じて一定の面積の口分田が再配分されるようになった。	4. 土地の価格に応じて税を現金で納める制度へと移行し、政府の安定した税収を確保するために全国で大規模な土地調査が行われた。
問12	1970年代初頭から2019年にかけての関東地方における工業出荷額の統計的な変化について、正しく述べているものはどれですか。 （2022年 東京都公立入試 類似）			
	1. 総出荷額は横ばいであるが、航空機産業の出荷額が約6.7兆円に達し、輸送用機械に代わる基幹産業となった	2. 産業構造の変化により繊維工業の出荷額が急増し、2019年には地域全体の出荷額の約2割強を占めるようになった	3. 輸送用機械の出荷額は1971年時点がピークであり、2019年にかけて出荷額・割合ともに減少が続けている	4. 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した

答え合わせ・解説

問1	答え 2 関門海峡と有明海	福岡県の北東端には山口県との間を隔てる関門海峡があり、古くから海上交通の要所であるとともに潮流が速いことで知られています。一方、県の南西部に面する有明海は、遠浅の干潟が発達しており、干潮と満潮の差が最大で6メートルにも達する日本最大の干満差が特徴です。
問2	答え 1 種子島	鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。
問3	答え 1 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。	ニュージーランドは日本と同じく環太平洋造山帯に属しており、山がちで急峻な地形が特徴です。特に南島の南西部には、かつて氷河によって削られたU字谷に海水が入り込んで形成された「フィヨルド」と呼ばれる美しい景観が広がっています。また、日本との貿易では季節が逆であることを活かした農産物の輸出が盛んで、統計からもわかる通り、キウイフルーツをはじめとした果実の輸出額がこの20年で大きく伸びています。
問4	答え 3 パークアンドライド	自宅から最寄り駅までを自家用車で移動し、駅に隣接した駐車場に停車（パーク）して、そこから公共交通機関（ライド）に乗り換えて都市部などへ向かう交通システムです。地方都市において、過度な自家用車依存を抑え、都市部の渋滞緩和や公共交通の維持、環境負荷の低減を図るために導入されています。
問5	答え 3 誰一人取り残さない	SDGsは、貧困や飢餓の撲滅だけでなく、ジェンダー平等や気候変動への対策など、多様な背景を持つ人々が直面する課題を包括的に解決することを目指しています。このスローガンは、特定の国や地域、人種、性別に関わらず、地球上のすべての人々が持続可能な発展を享受できる社会を構築するという強い意志を表しています。
問6	答え 1 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。	アフリカ州は世界的に見ても人口増加率が極めて高く、2000年代の10年間で約27.6%もの増加を記録しています。この急激な人口増加に対応するためには、人々の生活を支えるための食料を確保しなければなりません。そのため、もともとあった森林を切り拓いて耕作地へと作り替える「農地転用」が大規模に行われました。統計上も、森林面積の減少と農地面積の増加が顕著に現れており、これがアフリカにおける主要な環境問題の一つとなっています。工業化や砂漠化も地域的な課題ではありますが、この時期の広域的な土地利用の変化は、主に人口増加に伴う食料問題に起因しています。
問7	答え 4 インド大反乱（セポイの乱）	1857年に発生したインド大反乱（セポイの乱）は、イギリスの支配に対する大規模な抵抗運動でした。イギリスはこの反乱を鎮圧した後、東インド会社を解散させてインドを直接支配下に置きました。この反乱の鎮圧から9年後の1867年には、軍事的な統制力の強化と、綿花などの資源輸送の効率化を目的として、主要な鉄道網の開通が実現しました。
問8	答え 1 灌漑（かんがい）設備を整備し、スプリンクラーを用いて散水する仕組み	砂丘地帯は水が地中に浸透しやすく、植物の成長に必要な水分を保持しにくいという課題があります。この問題を解決するために、大規模な灌漑設備を整え、スプリンクラーで効率的に水を供給する技術が導入されました。これにより、乾燥に強いラッキョウだけでなく、梨などの果樹栽培も盛んに行われるようになりました。
問9	答え 3 北大西洋海流という暖流の影響と、一年中吹く偏西風の影響	高緯度のヨーロッパ西岸では、低緯度から温かい水を運んでくる暖流（北大西洋海流）の上を、偏西風という西寄りの風が通過します。この偏西風が暖流によって温められた湿った空気を大陸へと運ぶため、冬でも海が凍らず、比較的温暖な西岸海洋性気候が形成されます。
問10	答え 3 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。	ドイツは高緯度に位置し、全体的に冷涼な気候であるため、古くから寒さに強い小麦やじゃがいもが栽培されてきました。実際の統計においても、とうもろこしの生産量（約455万トン）に対してじゃがいもの生産量（約1172万トン）が2倍以上となっており、米の生産がゼロであることと併せて、ドイツの食文化や気候条件を強く反映した数値となっています。
問11	答え 1 複雑だった荘園領主などの権利関係が整理され、土地を実際に耕している農民が検地帳に登録されて年貢を納める仕組みが確立した。	豊臣秀吉が行った太閤検地は、それまでの複雑な荘園制を完全に崩壊させる役割を果たしました。一つの土地に対して複数の権利者がいた状態を解消し、実際に耕作している農民を「一地一作人」の原則で検地帳に登録しました。これにより、農民が直接、石高に応じた年貢を領主へ納める近世的な支配体制が築かれ、兵農分離も促進されることとなりました。
問12	答え 4 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した	関東地方の工業は、約50年間で総出荷額が10倍近くに拡大しました。1971年時点では輸送用機械の割合は8.5%に過ぎませんでしたが、2019年には22.1%（約6.7兆円）へと急成長しており、自動車産業などが地域の経済を牽引する重要な役割を担うようになっています。